

殘餘高

十六學 (日 職 金) 日) 駅ムて繁り各以設立ちあめたる春の勢た後 府方向より三支流の合する所と延平府と称 府方向より三支流の合する所と延平所と称。てまつくあるは確かなりしを以て倫敦艦報(勢動者の近状) 追々暖気に向けは江州方面よりし座は注武府より北近地部 歯にして乳物機能の自己の動物の南方を港 事券火徳深をの種子様を了れると 其差貨壌の留ならざる也 如何に敗兵の土氣沮喪して闘志、R非常の損失を表す事れば大に注意すべなきにをせよ我兵兒の剛勇なる。されてなるでをせよ我兵兒の剛勇なる。されてなる。元秦省内一般の流通貨でしてはなきにをせよ我兵兒の剛勇なる。 はだ政引きに慣れざるなのは貨幣検禁のよめにり乗込み其人員で點検せした ▲省内の流通貨 親建方面よはて末にり乗込み其人員で點検せした ▲省内の流通貨 親建方面よはて末 ◆輸出入貨物 関エの流域八百清里南 にり乗込み其人員で點換せ」に「▲省内の流通貨」「編建方面などで未収調べたる「韓人を全村に差遣したをに全たれば六名の敵兵は直に敵中」を以る韓の優強さらし 門司 漏健省新音 (ma) は事實なるが如常事事。 しょう イモ 一番 一番 動者の近状 追々暖気に向ひれれば の権戦説は死に角役我の間隔共だ接近也の 地名よく 会観れる勢働者や或は登储けわら 當時にありて新嘉城方面より置せる情報に一点鳥致院の拓植 よりは今少じく東方に進み來り居りしは事節め漸く廿五万年のポプラ苗を植付落繁松 よりは今少じく変方と他矢をうるり、より「うり」という。 では 一十丁步の地域を鳥野院に の混戯も想ふべしと英宗図通は落れりまれば巳に波楹隊の一般はマダカスカル島 人金某外数名と二十丁步の地域を鳥野院に の混戯も想ふべしと英宗図通は落れり 電照によりて事意別方面より置せる情報に み鳥野院の拓植 在京居留民大庭氏は韓 然市中を積行せるといふに至つては哈尉覧 を出發し臺灣を極由して開墾せるが出餐の 川を重めの思ひからしむ、此後の離州に下 散取報導せるが合其の群機に接したるを一科理店の 秋鷹嶺方面3て火贼と我憲兵との衝突は 下るもの實に形じく此三種ある福建省輸出 を有するもの、事業に属すれは順税を課せ、これに出て捜査しつ、オットンに至り停っを起して平壌以北に向ふもの日に加り以供的のり面して免材木は殆んの日本の図鑑館へ高子洞に泊し翌日松船山より黄洞路へ、等は髪結び鏡にも不自由なればとて大穀信 平量者しくは元山を各方面に越くもの日に りしが春風の騒々と吹き渡るにつれて開城 水清等の原等の職業もなく居喰のしつト んかと空を思抱びて無睹るに入込みたる新 南方約一里学の警路月畑村に向て行進せし 時頃襲水し金品衣類を强奪し郷女を強姦し 村に火賊襲來せしは昨日即ち四月一日拾二 を越へ一手は三峯山方面を捜査せせしも要三十一日末明より二手に分れ一分は千方山 たらかどをもし、よること、 14 名針の標 回南大門造りに平野戦工場を設け職工廿数 車場に出で仮所(三月三十日)一面には永岡 △億工場の設立 |二月二十九日午前八時順管原憲兵上等兵外| ●漢城通信 胃垢 以て左に記載せん 軍隊の活動の前進と共 烏は生 トンに至り停 |時中止されたら仁川で内に於ける沈没寡艦||規則議案左の如し||第一條、居領地課金以本規定により之を||新七春號の候に際したるを以て舊冬以本一||百丁消算員におて業器によります。 など、一は巡査派兵の取締により禁し、路を別にするものから支界際の如うも宣部 韓國通信機關を日本に委任の件は昨日 地に到着されしが凡ろ四五十日間にて全く 一主任者新井海軍小将は去月三十一日既に同 今殿屋をない得さり、が今や彼等が白電公 な近子夏うとすゝ・・ 「採取する由なるがその見込は費坪に就て参「適相の如ねも向るに一び講幹を胚遊し交通」氏は永調に於て八百坪の地震を購入し砂金」の議は育てより暗へられたる歳なるが大池(砂金・採取 京城明渦時計商模井初治 は総て之を統一し政府に於て懸奪すべしと)。。●・● は非常の混亂を生じて全く秩序を失びため、持髪の後、一切を対して対象所にては 昨今積を取兵の入込むと共に哈爾隆の由の、次氏及緊緩原和田良村に常港ナニ十九日 昨今頃を取兵の入込むと共に哈爾隆の由の、次氏及緊緩原和田良村に常港ナニ十九日 日主・ト、マートでは家を念にせるとは近答の「中共の疑めると認め底ちに媳却せり て御命名相成な~しと云ふ沙取りたれば近日教閥著名なる山名に訳み せる為の料理店は特に寂寞を加へ仲居女中一公使は外部に赴ら調印を丁せら 三千五百幅の大装甲巡洋艦二隻は工事輸程 昨年來吳海軍造船廠に於て建能中なる一萬 匁五分獲の收得わる由 ●仁川露鰮の引揚 ・ハルピンの動亂 ●曙巡洋艦の命名 通信機關問題定 雜 在京平野氏外數氏は遺 を見るならんといふ には顔な適常なるを以て益々同航路の機能 をつ航するに過ぎざるを以て船道者の旅 速安金領採掘特許の旨と回答せり 三月三十日午后長崎縣知郡荒川磯太郎よ 得すべる東滑鐵道或は新工敷設する鐵道等 韓國生牛二十七頭搭載せる印船一隻釜山 居留地の課金 統一の事實現せらるいに至らんと云ふ が説を舞するの多く或る將來右備解各鐵道 勢の調査を含ま<br />
響い由して政黨間にても之 此程出發せる田次官も此点に関して尚は十 機関に就て視察を遂げ其統一の必要を認め 道道に隣州に於て轄來戦利品でして當然後 韓國に続ける京祭、京義及京元等各種の鐵 韓廷は去る二拾七日日英米三國公使に對し 一日韓國皇帝の兼可を帰て明日午億二時林 ず農商務省へ左の電報建したり 中に贈を原却す ●満緯製道の統一 規則 市年度層層地豫算は左表の通りにして目下 べし 居留地會の審議中なるも委員會の報告せる ものなれば本會議に於て半多く變更なかる 十十十十十十九八七六五四三二一 石四三二一等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等 は毎年度の居留地台の次議に依頼数條に掲ぐる器が金の等級並 五 四 三 街技技年收 配師師俸入 九、小使給 差九萬一 大百個也 ナハ百六十六頃也 個和 総特費 出

会是 相傷 台八門



N7

Ñ

日

出

<u>ا</u>

W

12, 11

口觸四

候借深ノ各 類シ糾弾位 首尚候引益 一就立御

砂化 吳煙 文 糖品 服草具

猾

番

赤山

本

孝

九

號電

23. 1111

開

通

能過手灣

貨物 額第茶 

近川勢

が多一郎

. HI

一丁目三奇地

店張出谷栗

谷池養蠶傅智所 七番地日韓農會

Ш

北

濩

●傳習 

ず

屋新聞舖

月

拾

鋑

<u>ক</u>

7)2 11

で語言の十四番)

ケ月

7 七 割九 当 步

